



2024年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年10月11日
東

上場会社名 株式会社メディア工房 上場取引所
 コード番号 3815 URL <http://www.mkb.ne.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長沢 一男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 長沢 和宙 (TEL) 03-5549-1804
 定時株主総会開催予定日 2024年11月22日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2024年11月22日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期の連結業績(2023年9月1日～2024年8月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期	2,012	△2.9	△141	—	△148	—	△270	—
2023年8月期	2,073	△5.9	58	△69.6	49	△72.9	35	△77.0
(注) 包括利益	2024年8月期		△270百万円(—%)		2023年8月期		35百万円(△77.1%)	

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年8月期	△26.89	—	△22.7	△5.5	△7.0
2023年8月期	3.51	—	2.6	1.7	2.8

(参考) 持分法投資損益 2024年8月期 ー百万円 2023年8月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年8月期	2,651	1,045	39.4	103.69
2023年8月期	2,712	1,345	49.6	133.49

(参考) 自己資本 2024年8月期 1,045百万円 2023年8月期 1,345百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年8月期	44	△238	127	1,960
2023年8月期	75	△104	△327	2,027

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年8月期	—	0.00	—	3.00	3.00	30	85.6	2.2
2024年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年8月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2025年8月期の連結業績予想(2024年9月1日～2025年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	2,186	8.6	△61	—	△69	—	△75	△7.44

※2025年8月期の通期業績見通しは、各事業の見通しに基づき予測する数値となっております。各事業の進捗並びに業績に与える影響を精査の上、当該連結業績予想に変更が生じた際は、速やかに訂正・開示いたします。

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年8月期	11,300,000株	2023年8月期	11,300,000株
② 期末自己株式数	2024年8月期	1,221,144株	2023年8月期	1,221,077株
③ 期中平均株式数	2024年8月期	10,078,888株	2023年8月期	10,078,923株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年8月期の個別業績（2023年9月1日～2024年8月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期	1,955	△3.2	△154	—	△157	—	△277	—
2023年8月期	2,020	△5.5	51	△71.0	45	△73.8	31	△77.2
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年8月期	△27.54		—					
2023年8月期	3.12		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2024年8月期	2,579		985		38.2		97.82	
2023年8月期	2,652		1,293		48.8		128.36	

(参考) 自己資本 2024年8月期 985百万円 2023年8月期 1,293百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に掲載される業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提条件に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。
- 当社は、2024年10月25日（金）に証券アナリスト、機関投資家向けに説明会を開催する予定です。この説明会資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善傾向により、緩やかな回復基調となったものの、原材料及びエネルギー価格の高騰、物価上昇等が続いており、経済の先行きに係る不確実性は依然として高い状況が続いております。

このような情勢の中、当社グループは、「占いの企業」から「働く女性を応援する企業」への変容を目指し、収益を拡大し企業価値を向上させるため、主軸である占い事業の収益拡大を図るとともに、各事業の内容を精査し、当社が取り組むべき事業の選択と集中を行ってまいりました。その結果、第3四半期以降において、2つのエンタメマッチングサービス事業サービス（「OneRoof」「CarryGo！」）及び韓国食品EC事業からの撤退並びに各事業における固定資産の減損損失の計上を決定し、固定資産の減損損失89百万円及び事業撤退損失17百万円、合計106百万円の特別損失を計上いたしました。なお、これに伴い、2024年8月期の通期業績の予測数値及び今後の業績動向を総合的に勘案し、繰延税金資産11百万円を取崩し、法人税等調整額11百万円を計上しております。

また、選択と集中の結果、今後リソースを集中させる各事業について具体的な目標数値と方向性を示すべく中期経営計画を公表するとともに、多くの方々に中長期的な目線で当社事業への理解を深めご支援いただきたいと考え、株主優待制度を新設いたしました所、公表以降、当社の想定を大幅に超える株主数の増加が生じたため、株主優待引当金として74百万円を計上しております。

以上の結果、当社グループの当連結会計年度の経営成績は、売上高2,012百万円(前年同期比2.9%減)、営業損失141百万円(前年同期は営業利益58百万円)、経常損失148百万円(前年同期は経常利益49百万円)、親会社株主に帰属する当期純損失270百万円(前年同期は親会社株主に帰属する当期純利益35百万円)となりました。

セグメントごとの取組み内容及び経営成績は、以下のとおりであります。なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを、今後の事業展開等を踏まえ、変更しております。そのため、当連結会計年度の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。詳細は、下記及び「3. 連結財務諸表及び主な注記(5) 連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」の「4. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

① 占い事業(旧: デジタルコンテンツ事業 / One to One 事業 占いサービス)

占い事業においては、自社Webサイト、ISP、各移動体通信事業者及びApple や Google 等のプラットフォーム向けに占い鑑定や女性に向けた記事コンテンツを企画・制作・配信する1対N向けのサービス及びユーザーと占いの師が電話・チャットで直接、双方向にやり取りできる1対1向けのサービスを行っております。自社メディアが好調となった他、一時は下降傾向が見えた電話・チャット占い売上が運用見直しにより回復いたしましたが、新規コンテンツにおいて、年間リリース数を12本から5本へと削減し、1サイトごとの精度を高める制作体制に努めたものの、ヒットコンテンツに恵まれず、売上高は前年同期比で減少いたしました。また、売上減少による影響の他、広告宣伝費及び人件費の増加が営業利益を押し下げております。

以上の結果、当連結会計年度における占い事業の売上高は1,900百万円(前年同期比2.9%減)、営業利益487百万円(前年同期比10.7%減)となりました。

なお、占い事業においては、事業精査の結果、マーケティングシステム開発費13百万円の減損損失を特別損失として計上しております。

② エンタメ・マッチングサービス事業(旧: SNS事業 / XR事業 / One to One 事業 非占いサービス)

エンタメ・マッチングサービス事業においては、SNSを中心に、ネットとリアルの両面において人々の交流・関係構築の機会や場を提供するサービスを行っております。「きゃらデン」及びシミュレーションゴルフ店舗運営売上は前期比で横ばいとなった一方、各サービスにおける減価償却費及び広告宣伝費が負担となり営業損失を計上しております。

以上の結果、当連結会計年度におけるエンタメ・マッチングサービス事業の売上高は109百万円(前年同期比3.6%減)、営業損失100百万円(前年同期は営業損失134百万円)となりました。

なお、これを受けて、当社では「OneRoof」および「CarryGo！」のサービス撤退を決定した他、「CarryGo！」との相乗効果を企図しておりましたシミュレーションゴルフ事業についても、計画の修正に伴い店舗に係る固定資産の減損を行いました。これにより、エンタメ・マッチングサービス事業としては、減損損失60百万円及び事業撤退損失17百万円を特別損失として計上しております。

③ その他事業（ヘルスケア/EC 他）

当社グループでは、企画・開発の初期段階にある事業について、金額又は連結売上高若しくは連結営業利益に占める割合等から重要性が低いと判断した事業等については、一括して「その他」セグメントとして区分し、計上しております。当連結会計年度においては、韓国コスメEC「Coréelle」及び韓国食品EC「アイゴー」の運営の他、医療・美容分野への参入に向け、サービスに関する先行調査等を推進する他、M&Aの検討についても行ってまいりました。売上が僅少である中、ECサイトのソフトウェア償却費、市場調査及びM&A検討にかかる費用が負担となり、前年同期比で営業損失が拡大しております。

以上の結果、当連結会計年度におけるその他の売上高は2百万円(前年同期比22.5%増)、営業損失96百万円(前年同期は営業損失13百万円)となりました。

なお、その他事業においては、事業精査の結果、「アイゴー」のサービス撤退を決定し、減損損失7百万円を計上する他、「Coréelle」についても、収益性向上のため会員制度の見直しやサイトリニューアルを行うこととし、既存システムについて7百万円の減損損失を計上しております。これらはいずれも特別損失として計上しております。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資本の財源及び資金の流動性に係る情報

当社グループの事業活動における主な運転資金需要は、各事業の事業規模拡大や新規事業推進に伴う運転資本及びシステム開発費の増加等であります。

当社グループは、内部資金の活用及び金融機関からの借入により資金調達を行っており、これらの事業活動に必要な資金の安定的な確保に努めております。資金調達においては、当社は、金融機関に十分な借入枠を有しており、市場環境を勘案し、慎重な判断のもと借入を行っております。一方で内部資金についてはこれまでの利益剰余金の積み重ねにより高水準を維持している現預金を活用しており、各種事業への機動的な投資の実行を可能にするとともに、自己資本比率をはじめとする各指標のもと、資金効率の向上に努めております。

② 財政状態の分析

当連結会計年度の当社グループの財政状況は以下のとおりです。

(資産の状況)

当連結会計年度の資産合計は、前連結会計年度末と比較して60百万円減少し、2,651百万円となりました。

これは主に、現金及び預金の減少67百万円、売掛金の減少45百万円、長期貸付金90百万円、繰延税金資産の取崩しによる減少11百万円によるものです。

資産の内訳は、流動資産2,231百万円、有形固定資産6百万円、無形固定資産148百万円及び投資その他の資産265百万円となっております。

(負債の状況)

当連結会計年度の負債合計は、前連結会計年度末と比較して239百万円増加し、1,606百万円となりました。

これは主に、1年内返済予定の長期借入金の増加39百万円及び長期借入金の増加119百万円並びに株主優待制度の導入に伴う株主優待引当金74百万円によるものです。

負債の内訳は、流動負債988百万円、固定負債617百万円となっております。

(純資産の状況)

当連結会計年度の純資産合計は、前連結会計年度末と比較して300百万円減少し、1,045百万円となりました。

これは主に、利益剰余金の減少301百万円によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して67百万円減少し、1,960百万円となりました。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により増加した資金は、44百万円(前連結会計年度は75百万円の増加)となりました。

主な増減要因は税金等調整前当期純損失254百万円、減価償却費40百万円、選択と集中により撤退した事業等にかかる減損損失89百万円を計上したこと及び売上債権の減少45百万円、未払金の増加12百万円及び未払消費税の増加22百万円によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により減少した資金の額は、238百万円(前連結会計年度は104百万円の減少)となりました。

主な増減要因は、きゃらデン、電話占い及びマーケティング等のシステム開発に係る無形固定資産の取得による支出134百万円及び敬霞会への貸付けによる支出100百万円であります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により増加した資金は、127百万円(前連結会計年度は327百万円の減少)となりました。

主な増減要因は、長期借入金の借入による収入899百万円、長期借入金の返済による支出740百万円及び配当金の支払いによる支出31百万円であります。

(4) 今後の見通し

今後については、雇用・所得環境の改善等景気回復への期待が高まる一方、原材料価格の高止り、人手不足の深刻化とこれに伴う人件費の高騰、世界経済においても地政学リスクの高まりや中国等の景気後退が懸念となり、依然として先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

当社グループの属するデジタルコンテンツ業界においても、プラットフォーム以外は、配信プラットフォームの方針に収益が左右される側面が強く、新規顧客の獲得においてもWeb広告が標準的な広告手法へとなりつつあることから、競争はますます激化するものと見込まれます。

このような中、当社グループでは、2024年8月期における事業精査と選択の結果、リソースの集中を決定した既存事業の収益拡大と既存事業とシナジーの高い新規参入事業の収益化を進めるにあたり、全事業に展開可能なシステム(マーケティング他)の開発やChatGPTをはじめとする生成AI等の活用により、生産性・ユーザー体験の向上を図ってまいり所存です。

以上を踏まえ、当社グループは、次期以降の連結業績について下記のとおり予想、数値目標を定めております。

(単位：百万円)	2024年8月期 (実績)	2025年8月期 (予想)	2026年8月期 (計画)
売上高	2,012	2,186	2,837
・ 占い事業	1,900	1,986	2,262
(デジタルコンテンツ)	1,188	1,200	1,395
(電話・チャット)	712	786	867
・ エンタメマッチング事業	109	125	214
・ その他事業(新規美容アプリ含む)	2	75	360
営業利益	△141	△61	175
・ 占い事業	487	477	555
(デジタルコンテンツ)	392	373	433
(電話・チャット)	95	104	122
・ エンタメマッチング事業	△100	△23	△0
・ その他事業(新規美容アプリ含む)	△96	△90	45
・ 共通(管理)部門	△431	△425	△425

これらの数値は、各事業の見通しに基づき予測する数値となっております。従って、新規事業の進捗に変更がある場合、利用ユーザー数が大幅に見込みを上回る若しくは下回る場合又は当社グループ事業に関連する法令が改正されあるいは情勢が変化した場合、変動する可能性があります。

なお、財務面に関しては、これまで同様、資産の透明性を確保し、新規事業への挑戦を安定した内部留保によって下支えする健全な経営を行う考えであります。

※上記数値目標は、2024年6月19日に公表いたしました中期経営計画(2024年8月期～2026年8月期)の数値目標を見直し、修正した数字であります。詳細については2024年10月11日に開示いたしました「中期経営計画の見直しに関するお知らせ」をご参照ください。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性等を考慮し、日本基準を適用しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢等を考慮のうえ、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当連結会計年度 (2024年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,027,423	1,960,337
売掛金	273,217	227,283
商品	57	-
仕掛品	4,157	2,750
貯蔵品	291	293
その他	58,627	41,075
貸倒引当金	△570	△635
流動資産合計	2,363,205	2,231,105
固定資産		
有形固定資産		
建物	70,788	70,788
減価償却累計額及び減損損失累計額	△48,434	△67,144
建物(純額)	22,353	3,643
工具、器具及び備品	87,746	89,411
減価償却累計額及び減損損失累計額	△80,968	△86,252
工具、器具及び備品(純額)	6,777	3,158
有形固定資産合計	29,130	6,802
無形固定資産		
ソフトウェア	50,125	69,153
ソフトウェア仮勘定	82,207	78,038
その他	552	960
無形固定資産合計	132,885	148,152
投資その他の資産		
投資有価証券	86	86
長期貸付金	-	90,000
繰延税金資産	86,280	74,361
会員権	5,588	5,539
敷金及び保証金	92,605	94,559
その他	2,681	3,973
貸倒引当金	△235	△3,349
投資その他の資産合計	187,005	265,169
固定資産合計	349,021	420,125
資産合計	2,712,227	2,651,230

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当連結会計年度 (2024年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	56,780	52,025
1年内返済予定の長期借入金	629,896	669,228
未払費用	44,145	43,124
未払法人税等	6,154	6,019
未払消費税等	6,694	5,787
株主優待引当金	-	74,114
その他	125,148	137,973
流動負債合計	868,819	988,272
固定負債		
長期借入金	498,018	617,869
固定負債合計	498,018	617,869
負債合計	1,366,837	1,606,141
純資産の部		
株主資本		
資本金	451,459	451,459
資本剰余金	422,578	422,578
利益剰余金	986,491	685,269
自己株式	△514,204	△514,219
株主資本合計	1,346,325	1,045,088
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△935	-
その他の包括利益累計額合計	△935	-
純資産合計	1,345,389	1,045,088
負債純資産合計	2,712,227	2,651,230

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
売上高	2,073,847	2,012,763
売上原価	1,005,377	1,012,690
売上総利益	1,068,469	1,000,072
販売費及び一般管理費	1,009,536	1,141,227
営業利益又は営業損失(△)	58,932	△141,154
営業外収益		
受取利息	22	4,769
為替差益	859	6
受取保険金	153	-
その他	325	1,151
営業外収益合計	1,361	5,928
営業外費用		
支払利息	10,405	11,774
その他	602	1,111
営業外費用合計	11,008	12,886
経常利益又は経常損失(△)	49,285	△148,112
特別損失		
減損損失	-	89,596
投資有価証券売却損	8,000	-
事業撤退損失	-	17,081
特別損失合計	8,000	106,677
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	41,285	△254,790
法人税、住民税及び事業税	1,928	4,276
法人税等調整額	4,029	11,918
法人税等合計	5,957	16,194
当期純利益又は当期純損失(△)	35,328	△270,985
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	35,328	△270,985

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	35,328	△270,985
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△9	935
その他の包括利益合計	△9	935
包括利益	35,318	△270,049
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	35,318	△270,049

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	451,459	422,578	996,518	△514,204	1,356,352	△926	△926	1,355,426
当期変動額								
剰余金の配当			△45,355		△45,355			△45,355
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			35,328		35,328			35,328
自己株式の取得					-			-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△9	△9	△9
当期変動額合計	-	-	△10,026	-	△10,026	△9	△9	△10,036
当期末残高	451,459	422,578	986,491	△514,204	1,346,325	△935	△935	1,345,389

当連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	451,459	422,578	986,491	△514,204	1,346,325	△935	△935	1,345,389
当期変動額								
剰余金の配当			△30,236		△30,236			△30,236
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△270,985		△270,985			△270,985
自己株式の取得				△14	△14			△14
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						935	935	935
当期変動額合計	-	-	△301,222	△14	△301,236	935	935	△300,300
当期末残高	451,459	422,578	685,269	△514,219	1,045,088	-	-	1,045,088

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	41,285	△254,790
減価償却費	29,134	40,643
減損損失	-	89,596
投資有価証券売却損益(△は益)	8,000	-
受取利息	△22	△4,769
支払利息	10,405	11,774
売上債権の増減額(△は増加)	13,884	45,934
棚卸資産の増減額(△は増加)	5,683	1,403
仕入債務の増減額(△は減少)	△423	△4,755
株主優待引当金の増減額(△は減少)	-	74,114
未払金の増減額(△は減少)	13,859	12,801
未払費用の増減額(△は減少)	495	△1,039
未払消費税等の増減額(△は減少)	△19,712	22,285
その他	△4,074	18,190
小計	98,517	51,390
利息及び配当金の受取額	22	186
利息の支払額	△10,429	△10,997
法人税等の支払額	△12,512	△1,095
法人税等の還付額	-	4,689
営業活動によるキャッシュ・フロー	75,597	44,172
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,047	△2,250
無形固定資産の取得による支出	△115,412	△134,164
投資有価証券の売却による収入	12,000	-
敷金及び保証金の差入による支出	-	△2,351
貸付けによる支出	-	△100,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△104,459	△238,766
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	600,000	899,791
長期借入金の返済による支出	△882,728	△740,809
自己株式の取得による支出	-	△14
配当金の支払額	△45,069	△31,459
財務活動によるキャッシュ・フロー	△327,797	127,507
現金及び現金同等物に係る換算差額	△28	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△356,688	△67,086
現金及び現金同等物の期首残高	2,384,111	2,027,423
現金及び現金同等物の期末残高	2,027,423	1,960,337

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

(2) 各セグメントに属する製品及びサービスの種類

「占い事業」は、自社Webサイト、ISP、各移動体通信事業者及びApple や Google 等のプラットフォーム向けに占い鑑定や女性に向けた記事コンテンツを企画・制作・配信する、1対N向けのサービス及びユーザーと占い師が電話・チャットで直接、双方向にやり取りできる1対1向けのサービスを、「エンタメ・マッチングサービス事業」は、SNSを中心に、ネットとリアルの両面において人々の交流・関係構築の機会や場を提供するサービスを行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。報告セグメントの利益は、営業損益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高または振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報
前連結会計年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結 財務諸表 計上額 (注)3
	占い事業	エンタメ・マッ チングサービス 事業	計				
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	1,958,178	113,571	2,071,750	2,096	2,073,847	—	2,073,847
外部顧客への売上 高	1,958,178	113,571	2,071,750	2,096	2,073,847	—	2,073,847
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,958,178	113,571	2,071,750	2,096	2,073,847	—	2,073,847
セグメント利益又は セグメント損失(△)	545,784	△134,461	411,323	△13,628	397,695	△338,762	58,932
セグメント資産	404,952	69,954	474,906	25,587	500,494	2,211,733	2,712,227
その他の項目							
減価償却費	13,016	11,077	24,093	2,526	26,620	2,514	29,134
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	76,221	32,084	108,305	25,054	133,359	—	133,359

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ゲーム事業などの事業を含んでおります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△338,762千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用の△338,762千円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用であります。

(2) セグメント資産の調整額2,211,733千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に本社及び管理部門に係る資産であります。

(3) 減価償却費の調整額2,514千円は、主に本社及び管理部門の資産に係る減価償却費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結 財務諸表 計上額 (注)3
	占い事業	エンタメ・マッ チングサービス 事業	計				
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	1,900,668	109,525	2,010,194	2,568	2,012,763	—	2,012,763
外部顧客への売上 高	1,900,668	109,525	2,010,194	2,568	2,012,763	—	2,012,763
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,900,668	109,525	2,010,194	2,568	2,012,763	—	2,012,763
セグメント利益又は セグメント損失(△)	487,485	△100,359	387,126	△96,702	290,423	△431,578	△141,154
セグメント資産	366,775	77,581	444,356	11,447	455,804	2,195,425	2,651,230
その他の項目							
減価償却費	14,975	13,290	28,266	10,000	38,266	2,376	40,643
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	54,242	74,056	128,299	49,109	177,408	—	177,408

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、EC事業などの事業を含んでおります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△431,578千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用の△431,578千円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用であります。

(2) セグメント資産の調整額2,195,425千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に本社及び管理部門に係る資産であります。

(3) 減価償却費の調整額2,376千円は、主に本社及び管理部門の資産に係る減価償却費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

今後の事業展開等を踏まえ報告セグメントの見直しを行い、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「デジタルコンテンツ事業」、「One to One事業」、「XR事業」、「SNS事業」の4区分から、「占い事業」、「エンタメ・マッチングサービス事業」の2区分に変更しております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

5. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

「占い事業」「エンタメ・マッチングサービス事業」及び「その他事業」において、事業撤退によるため及び当初想定していた収益獲得や費用削減の効果が見込めなくなったため、一部の資産について減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、89,596千円であります。報告セグメントごとでは、「占い事業」においては、13,025千円、「エンタメ・マッチングサービス事業」においては、60,981千円、「その他事業」においては、15,590千円の減損損失を計上しております。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)		当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	
1株当たり純資産額	133円49銭	1株当たり純資産額	103円69銭
1株当たり当期純利益	3円51銭	1株当たり当期純損失	△26円89銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	35,328	△270,985
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	35,328	△270,985
期中平均株式数(株)	10,078,923	10,078,888

(重要な後発事象)

該当事項はありません。